

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		10
部	子ども健康部	課	子育て政策課	

1. 指定概要

施設概要	名称	岡山第1・第2こどもの家		建設年	令和2年		
	所在地	近江八幡市加茂町3818番地2		利用対象	地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	敷地面積623.76㎡、延べ床面積293.18㎡、階数 地上1階					
	指定管理開始年度	令和2年					
指定管理者	名称	NPO法人はちまんキッズ					
	所在地	近江八幡市金剛寺町811					
指定管理業務の内容		①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）					
指定管理料		令和5年度：千円	令和6年度：千円	令和7年度：千円	令和8年度：千円（見込）		
利用料金制		採用している		選定方式	公募	応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備 日常的に施設内の清掃、施設の安全点検等を支援員が実施している。	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(サ―施設の運営上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 保護者会、役員会を開催して保育内容の報告を行っている。また、送迎時の日常的なコミュニケーションによる。 ②利用料金の徴収(延長保育料含む) 毎月徴収 令和7年度 4,313千円/ 4,131千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長保育は19時まで実施している。	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。また、学校や地域と連携を取り、運営された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の実施業務自主事業 その他の業務)	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	岡山第1 / 岡山第2 ・開設日数： 252日 / 253日 ・延べ利用者数： 5,938名 / 5,967名 ・平均登録児童数： 35名 / 34名	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 岡山第1/岡山第2 ■収入 (16,774千円/15,490千円) 保育料等 5,021千円/ 5,028千円 補助金 11,753千円/10,462千円 ■支出 (16,774千円/15,490千円) 人件費 15,506千円/14,333千円 管理運営費 1,268千円/ 1,157千円	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 岡山第1/岡山第2 ■収入 (15,597千円/15,426千円) 保育料等 4,313千円/ 4,131千円 補助金 11,284千円/11,295千円 ■支出 (15,597千円/15,426千円) 人件費 14,031千円/13,769千円 管理運営費 1,566千円/ 1,657千円	(よかったと評価できる事項) 市補助金交付要綱に基づき適正に運営された。
			(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	今年度は5月に二回、7月、12月、3月に一回ずつ保護者会を実施し、長期休暇の予定や過ごし方、新年度の予定、学童からの連絡事項などを伝えています。また、今後の児童減少の見込みに伴い、第三こどもの家の運営やクラス替えについても説明を行いました。その他、6年生卒業記念遠足における保護者会費の使用について説明し、個々の相談事は、保護者のお迎え時や電話にて対応しています。
評価頂いている内容	多くの子どもたちを少ない支援員で見ている中で、小さなことでも報告してくださり感謝している。
苦情・意見等	学童駐車場が少ないため、お迎え時に混雑している。学童入口から駐車場までの道が暗い。児童間のトラブルに対応について、保護者より意見をいただくケースが複数回あった。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

学童保育が子どもたちにとって安全・安心に過ごせる場所となるよう、特に長期休暇における支援員配置への支援をお願いしたい。 また、近年の猛暑に伴う熱中症対策に必要な設備・環境整備への支援についてもお願いしたい。

6. 指定管理者の自己評価コメント

保護者との日頃の会話や連絡を大切に、子どもたちの様子を共有しながら信頼関係の構築に努めるとともに、支援員間でも日々のミーティングや保育日誌を通して情報共有を行い、一人ひとりの児童に合わせた対応を心掛けた。 また、安全面や熱中症対策にも配慮し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めた。今後も地域や学校との連携を大切にしながら、安心・安全な居場所づくりを行っていきたい。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切にした活動を取り入れる等の工夫や姿勢などが評価できる。引き続き、学校や地域と連携した運営体制を築いていただきたい。しかしながら、児童間のトラブルに対する支援員の対応の部分において、保護者からの苦情があるため、再発防止として支援員間の情報共有等を徹底いただきたい。
--